

## 事務事業マネジメントシート

事務事業名		小学校新型コロナウイルス感染症対策予防事業				本年度担当課	学校管理課	
						前年度担当課	学校管理係	
政策体系	基本目標	04 豊かな心を育み、学び合うまちづくり				新規・継続	新規事業	
	政策	01 豊かな心と確かな学力を育むまちづくり				実施計画・一般	一般事業	
	施策	02 安全で安心して学べる教育環境の整備				市単独・国県補助	国県補助事業	
	基本事業	01 安全で快適な学校施設の整備				任意・義務	任意的事業	
予算科目	会計	款	項	目	予算事業名			
	一般	10	02	01	小学校新型コロナウイルス感染症対策予防事業			
事業計画	期間限定複数年度		事業期間		令和4年度 ~ 令和5年度			
					実施方法	直営		
						事業分類	施設維持管理事業	
						市長公約	該当なし	
						総合戦略	該当なし	
根拠法令・条例等 学校保健特別対策事業費補助金交付要綱								

1. 事務事業の現状把握【D0】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段 (事務事業の主な活動内容を記入します。)									
事業概要 (具体的な事務事業の活動内容・進め方)			令和4年度実績 (令和4年度に行った主な活動内容)						
学校保健特別対策事業費補助金に学校教育活動継続支援事業が新設されたことに伴い、学校運営上必要な感染症対策を行うため、手指用消毒液等の保健衛生用品を購入する			新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、加湿空気清浄機や二酸化炭素濃度測定器、手指用消毒液、石鹸液等を購入した						
			活動指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)
			小学校数	校	21	21	18	18	18
②対象 (この事務事業は誰・何を対象としていますか?)									
小学校及び義務教育学校 (前期課程) に在籍する児童及び教職員			対象指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)
			小学校数	校	21	21	18	18	18
			児童数	人	5,473	5,294	5,161	5,161	5,161
③意図 (この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)									
児童の学習環境及び教職員の就業環境の充実を図る			成果指標	単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			学習環境が整備されている学校の割合	%	目標 実績	100 100			
					目標 実績				
④結果 (どのような結果に結びつきますか?)									
施設、備品等の安全性、機能が保たれている			上位成果指標	単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			教育用コンピュータ1台あたりの児童生徒数	人	目標 実績	0.9 0.9			
					目標 実績				

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)	
	国庫支出金	千円	1,300	20,315	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	
	その他	千円	3,068	1,994	0	0	0	
	一般財源	千円	0	0	0	0	0	
	事業費計(A)	千円	4,368	22,309	0	0	0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
					備品購入費	13,660		
					需用費	8,649		
人件費	職員従事工数	人工	0	0.1	0	0	0	
	人件費計(B)	千円	0	729	0	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	4,368	23,038	0	0	0	

**B表（事後評価シート）**

事務事業名	小学校新型コロナウイルス感染症対策予防事業	本年度担当課	学校管理課
		前年度担当課	学校管理係

**(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等**

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	学校保健特別対策事業費補助金に学校教育活動継続支援事業が新設されたことにより、引き続き学校運営上必要な感染症対策を講じるため
②事務事業を取り巻く環境（対象者や国・県などの法令等、社会情勢など）は事務事業の開始時期と比べてどのように変化していますか？	感染症拡大の状況により、感染症予防対策を継続的に講じる必要がある
③この事務事業に対して、当該年度中、関係者（市民、議会、事務事業対象者）からどのような意見・要望がありますか？	教職員、保護者から学校運営上必要な感染症予防対策を行うための保健衛生用品等の整備を求められている

**(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組**

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組

**2. 事務事業の事後評価【Check】**

①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	市でなければならない	妥当である	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業があり統合・連携できている	中学校新型コロナウイルス感染症対策予防事業		向上した
⑧取組結果の理由			⑨事務事業の成果向上余地
加湿空気清浄機などが予定通り整備できた			成果向上余地がない
⑩A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由		⑪目標達成に向けて必要となる取組内容	
加湿空気清浄機などが予定通り整備でき、感染症予防対策を講じることができた			

**3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】**

(1) 事務事業の評価結果				(2) 今後の事務事業の方向性	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題（壁）とその解決策
目標達成度	大		○	現状維持（従来通り実施） * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
	中				
	小				
	成果向上余地				

## 事務事業マネジメントシート

事務事業名		小学校教育活動新型コロナウイルス感染症対策事業				本年度担当課	学校管理課
						前年度担当課	学校管理課
政策体系	基本目標	04	豊かな心を育み、学び合うまちづくり			新規・継続	新規事業
	政策	01	豊かな心と確かな学力を育むまちづくり			実施計画・一般	一般事業
	施策	02	安全で安心して学べる教育環境の整備			市単独・国県補助	国県補助事業
	基本事業	01	安全で快適な学校施設の整備			任意・義務	任意的事業
予算科目	会計	款	項	目	予算事業名		事業区分
	一般	10	02	02	小学校教育活動新型コロナウイルス感染症対策事業		
事業計画		単年度のみ		事業期間	令和4年度 ~		
根拠法令・条例等		学校保健特別対策事業費補助金交付要綱					

### 1. 事務事業の現状把握【D0】

#### (1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段 (事務事業の主な活動内容を記入します。)											
事業概要 (具体的な事務事業の活動内容・進め方)				令和4年度実績 (令和4年度に行った主な活動内容)							
学校保健特別対策事業費補助金に学校教育活動継続支援事業が新設されたことにより、新型コロナウイルス感染症対策を取りながら子どもたちの学習保障のための教材等を購入する事業				教育活動事業として児童生徒の学びを保障するため、学校での教育活動を実施する際に必要とされるコピー用紙などの消耗品を購入							
				活動指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)	
小学校数				校	21	21	18	18	18		
②対象 (この事務事業は誰・何を対象としていますか?)											
①佐野市立の小学校 ②小学校に通う児童数				対象指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)	
小学校数				校	21	21	18	18	18		
児童数				人	5,473	5,294	5,161				
③意図 (この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)											
感染症拡大状況においても、学習環境の支援や教科補助資料の提供を推進し、より良い教育活動ができるようになる				成果指標	単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
				学習環境が整備されている学校の割合	%	目標	100	100	100	100	100
						実績	100	100			
						目標					
④結果 (どのような結果に結びつきますか?)											
施設、備品等の安全性、機能が保たれている				上位成果指標	単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
				教育用コンピュータ1台あたりの児童生徒数	人	目標	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9
						実績					
						目標					

#### (2) 総事業費の推移・内訳

事業費投入量	財源内訳	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)	
	国庫支出金	千円	0	4,631	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	0	1	0	0	0	
	事業費計(A)	千円	0	4,632	0	0	0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
					需用費	4,632		
人件費	職員従事工数	人工	0	0	0	0		
	人件費計(B)	千円	0	0	0	0		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	4,632	0	0		

**B表（事後評価シート）**

事務事業名	小学校教育活動新型コロナウイルス感染症対策事業	本年度担当課	学校管理課
		前年度担当課	学校管理課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	新型コロナウイルス感染症対策を取りながら子どもたちの学習保障等のため、学校保健特別対策事業費補助金に学校教育活動継続支援事業が新設されたことによる
②事務事業を取り巻く環境（対象者や国・県などの法令等、社会情勢など）は事務事業の開始時期と比べてどのように変化していますか？	感染症感染拡大の状況により、感染症予防対策を継続的に講じる必要がある
③この事務事業に対して、当該年度中、関係者（市民、議会、事務事業対象者）からどのような意見・要望がありますか？	教職員・保護者から学校再開に伴う感染症予防対策や学習環境整備及び教職員の資質向上が求められている

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
	新規事業により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	⑥類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業があり統合・連携できている	中学校教育活動新型コロナウイルス感染症対策事業		向上した
⑧取組結果の理由			⑨事務事業の成果向上余地
			成果向上余地がない
⑩A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由		⑪目標達成に向けて必要となる取組内容	
児童の学習環境の整備を図ることができた			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 事務事業の評価結果				(2) 今後の事務事業の方向性	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題（壁）とその解決策
目標達成度	大		○	事業終了 * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
	中				
	小				
	成果向上余地				

## 事務事業マネジメントシート

事務事業名		中学校新型コロナウイルス感染症対策予防事業				本年度担当課	学校管理課	
						前年度担当課	学校管理係	
政策体系	基本目標	04 豊かな心を育み、学び合うまちづくり				新規・継続	新規事業	
	政策	01 豊かな心と確かな学力を育むまちづくり				実施計画・一般	一般事業	
	施策	02 安全で安心して学べる教育環境の整備				市単独・国県補助	国県補助事業	
	基本事業	01 安全で快適な学校施設の整備				任意・義務	任意的事業	
予算科目	会計	款	項	目	予算事業名			
	一般	10	03	01	中学校新型コロナウイルス感染症対策予防事業			
事業計画	期間限定複数年度		事業期間		令和4年度 ~ 令和5年度			
					実施方法	直営		
						事業分類	施設維持管理事業	
						市長公約	該当なし	
						総合戦略	該当なし	
根拠法令・条例等 学校保健特別対策事業費補助金交付要綱								

1. 事務事業の現状把握【D0】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段 (事務事業の主な活動内容を記入します。)									
事業概要 (具体的な事務事業の活動内容・進め方)			令和4年度実績 (令和4年度に行った主な活動内容)						
学校保健特別対策事業費補助金に学校教育活動継続支援事業が新設されたことに伴い、学校運営上必要な感染症対策を行うため、手指用消毒液等の保健衛生用品を購入する			新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、加湿空気清浄機や二酸化炭素濃度測定器、手指用消毒液、石鹼液等を購入した						
			活動指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)
			中学校数	校	9	9	8	8	8
②対象 (この事務事業は誰・何を対象としていますか?)									
中学校及び義務教育学校 (後期課程) に在籍する生徒及び教職員			対象指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)
			中学校数	校	9	9	8	8	8
			生徒数	人	2,601	2,673	2,655	2,655	2,655
③意図 (この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)									
生徒の学習環境及び教職員の就業環境の充実を図る			成果指標	単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			学習環境が整備されている学校の割合	%	目標 実績	100 100			
					目標 実績				
④結果 (どのような結果に結びつきますか?)									
施設、備品等の安全性、機能が保たれている			上位成果指標	単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			教育用コンピュータ1台あたりの児童生徒数	人	目標 実績	0.9 0.9			
					目標 実績				

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)	
	国庫支出金	千円	600	9,551	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	
	その他	千円	1,902	929	0	0	0	
	一般財源	千円	0	1	0	0	0	
	事業費計(A)	千円	2,502	10,481	0	0	0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
					需用費	6,723		
					備品購入費	3,758		
人件費	職員従事工数	人工	0	0.1	0	0	0	
	人件費計(B)	千円	0	729	0	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	2,502	11,210	0	0	0	



**B表（事後評価シート）**

事務事業名	中学校新型コロナウイルス感染症対策予防事業	本年度担当課	学校管理課
		前年度担当課	学校管理係

**(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等**

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	学校保健特別対策事業費補助金に学校教育活動継続支援事業が新設されたことにより、引き続き学校運営上必要な感染症対策を講じるため
②事務事業を取り巻く環境（対象者や国・県などの法令等、社会情勢など）は事務事業の開始時期と比べてどのように変化していますか？	感染症拡大の状況により、感染症予防対策を継続的に講じる必要がある
③この事務事業に対して、当該年度中、関係者（市民、議会、事務事業対象者）からどのような意見・要望がありますか？	教職員、保護者から学校運営上必要な感染症予防対策を行うための保健衛生用品等の整備を求められている

**(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組**

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組

**2. 事務事業の事後評価【Check】**

①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業があり統合・連携できている	小学校新型コロナウイルス感染症対策予防事業		向上した
⑧取組結果の理由			⑨事務事業の成果向上余地
加湿空気清浄機などが予定通り整備できた			成果向上余地がない
⑩A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由		⑪目標達成に向けて必要となる取組内容	
加湿空気清浄機などが予定通り整備でき、感染症予防対策を講じることができた			

**3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】**

(1) 事務事業の評価結果				(2) 今後の事務事業の方向性	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題（壁）とその解決策
目標達成度	大		○	現状維持（従来通り実施） * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
	中				
	小				
	成果向上余地				

## 事務事業マネジメントシート

事務事業名		中学校教育活動新型コロナウイルス感染症対策事業				本年度担当課	学校管理課	
						前年度担当課	学校管理課	
政策体系	基本目標	04 豊かな心を育み、学び合うまちづくり				新規・継続	新規事業	
	政策	01 豊かな心と確かな学力を育むまちづくり				実施計画・一般	一般事業	
	施策	02 安全で安心して学べる教育環境の整備				市単独・国県補助	国県補助事業	
	基本事業	01 安全で快適な学校施設の整備				任意・義務	任意的事業	
予算科目	会計	款	項	目	予算事業名			
	一般	10	03	02	中学校教育活動新型コロナウイルス感染症対策事業			
事業計画		単年度のみ		事業期間	令和4年度 ~			
根拠法令・条例等		学校保健特別対策事業費補助金交付要綱						

### 1. 事務事業の現状把握【D0】

#### (1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段（事務事業の主な活動内容を記入します。）																																								
事業概要（具体的な事務事業の活動内容・進め方）					令和4年度実績（令和4年度に行った主な活動内容）																																			
学校保健特別対策事業費補助金に学校教育活動継続支援事業が新設されたことにより、新型コロナウイルス感染症対策を取りながら子どもたちの学習保障のための教材等を購入する事業					教育活動事業として児童生徒の学びを保障するため、学校での教育活動を実施する際に必要とされるコピー用紙などの消耗品を購入																																			
					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 15%;">活動指標</th> <th style="width: 5%;">単位</th> <th style="width: 10%;">R3年度 (実績)</th> <th style="width: 10%;">R4年度 (実績)</th> <th style="width: 10%;">R5年度 (目標)</th> <th style="width: 10%;">R6年度 (目標)</th> <th style="width: 10%;">R7年度 (目標)</th> </tr> <tr> <td>中学校数</td> <td>校</td> <td style="text-align: center;">9</td> <td style="text-align: center;">9</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">8</td> </tr> </table>					活動指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)	中学校数	校	9	9	8	8	8																	
活動指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)																																		
中学校数	校	9	9	8	8	8																																		
②対象（この事務事業は誰・何を対象としていますか？）																																								
①佐野市立の各中学校 ②中学校に通う生徒数					対象指標																																			
					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 15%;">単位</th> <th style="width: 10%;">R3年度 (実績)</th> <th style="width: 10%;">R4年度 (実績)</th> <th style="width: 10%;">R5年度 (目標)</th> <th style="width: 10%;">R6年度 (目標)</th> <th style="width: 10%;">R7年度 (目標)</th> </tr> <tr> <td>中学校数</td> <td>校</td> <td style="text-align: center;">9</td> <td style="text-align: center;">9</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">8</td> </tr> <tr> <td>生徒数</td> <td>人</td> <td style="text-align: center;">2,601</td> <td style="text-align: center;">2,673</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)	中学校数	校	9	9	8	8	生徒数	人	2,601	2,673															
単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)																																			
中学校数	校	9	9	8	8																																			
生徒数	人	2,601	2,673																																					
③意図（この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか？）																																								
生徒の学習環境及び教職員の就業環境の充実を図る					成果指標																																			
					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 15%;">単位</th> <th style="width: 10%;">R3年度</th> <th style="width: 10%;">R4年度</th> <th style="width: 10%;">R5年度</th> <th style="width: 10%;">R6年度</th> <th style="width: 10%;">R7年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">% 目標</td> <td style="text-align: center;">100</td> <td style="text-align: center;">100</td> <td style="text-align: center;">100</td> <td style="text-align: center;">100</td> <td style="text-align: center;">100</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">%</td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	% 目標	100	100	100	100	100	実績					%	目標					実績							
単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度																																			
% 目標	100	100	100	100	100																																			
	実績																																							
%	目標																																							
	実績																																							
④結果（どのような結果に結びつきますか？）																																								
施設、備品等の安全性、機能が保たれている					上位成果指標																																			
					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 15%;">単位</th> <th style="width: 10%;">R3年度</th> <th style="width: 10%;">R4年度</th> <th style="width: 10%;">R5年度</th> <th style="width: 10%;">R6年度</th> <th style="width: 10%;">R7年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">人</td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">0.9</td> <td style="text-align: center;">0.9</td> <td style="text-align: center;">0.9</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: center;">0.9</td> <td style="text-align: center;">0.9</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	人	目標			0.9	0.9	0.9	実績	0.9	0.9					目標						実績				
単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度																																			
人	目標			0.9	0.9	0.9																																		
	実績	0.9	0.9																																					
	目標																																							
	実績																																							

#### (2) 総事業費の推移・内訳

事業費投入量	財源内訳	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)	
	国庫支出金	千円	0	2,178	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	0	0	0	0	0	
	事業費計(A)	千円	0	2,178	0	0	0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
				需用費	2,178			
	人件費	職員従事工数	人工	0	0	0	0	0
	人件費計(B)	千円	0	0	0	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	2,178	0	0	0	

**B表（事後評価シート）**

事務事業名	中学校教育活動新型コロナウイルス感染症対策事業	本年度担当課	学校管理課
		前年度担当課	学校管理課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	新型コロナウイルス感染症対策を取りながら子どもたちの学習保障等のために学校保健特別対策事業費補助金に学校教育活動継続支援事業が新設されたことによる。
②事務事業を取り巻く環境（対象者や国・県などの法令等、社会情勢など）は事務事業の開始時期と比べてどのように変化していますか？	感染症感染拡大の状況により、感染症予防対策を継続的に講じる必要がある
③この事務事業に対して、当該年度中、関係者（市民、議会、事務事業対象者）からどのような意見・要望がありますか？	教職員・保護者から学校再開に伴う感染症予防対策や学習環境整備及び教職員の資質向上が求められている

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
	新規事務事業により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業があり統合・連携できている	小学校教育活動新型コロナウイルス感染症対策事業		向上した
⑧取組結果の理由			⑨事務事業の成果向上余地
			成果向上余地がない
⑩A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由		⑪目標達成に向けて必要となる取組内容	
生徒の学習環境の整備を図ることができた			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 事務事業の評価結果				(2) 今後の事務事業の方向性			(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題（壁）とその解決策		
目標達成度	大		○	事業終了 * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。					
	中								
	小								
	大 中 小 成果向上余地								